

日ラグ協発第 12-494 号

平成 24 年 11 月 29 日

関東ラグビーフットボール協会
会 長 貴島 健治 様
関西ラグビーフットボール協会
会 長 坂田 好弘 様
九州ラグビーフットボール協会
会 長 徳田 昇 様

(財)日本ラグビーフットボール協会
専務理事 矢部 達三



「競技規則 3.14 (d)」についてのルーリング 2012-3 (競技規則の確認)
(通達)

拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、競技規則につきまして、IRB よりこのほど、下記の通りルーリングに関する通達が出されました。

日本協会でもこれを受け、ここに通知いたします。貴協会におかれましても加盟都道府県協会、および、各チームに周知徹底いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

アイルランド協会からの競技規則 3.14 (d)に関するルーリング要請【至急】

メンバー人数 23 名の導入に伴い、競技規則 3.14 (d)も適用されるのか？

アイルランド協会としては適用されると考えている。そうしないと、なおも、一方のチームがノンコンテストスクラムを企て、15 人のままでいることが可能になってしまうからである。

さらに、3.14(d)は適用されないと、8 名の交代要員全員が使われたときに、競技規則に関する複雑な問題が生じてしまう。

ラグビー委員会の指定メンバーによるルーリング:

指定メンバーは、23名のプレーヤーが試合に指名されたときも、競技規則 3.14 (d)の条項が適用されるべきと考える。

競技規則 3.14(d) :

「いかなる理由であれ、適切に訓練され、かつ経験のあるフロントロープレーヤーの交代要員がいなくなり、ノンコンテストスクラムが命じられる場合、当該チームは、いなくなったことでノンコンテストスクラムの原因となったプレーヤーを戻すことはできず14名でプレーする、という条件を適用してもよい。」

以上